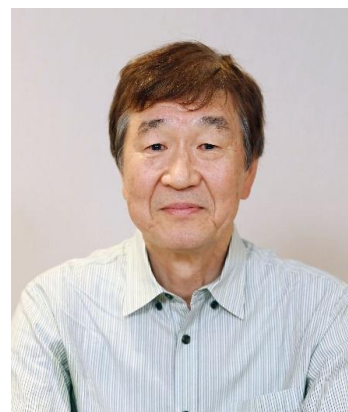


〔正賞 学術文化部門〕

1. 氏名 ことしま・まさやす
 児島 将康 氏
2. 年齢 68歳
3. 肩書 久留米大学名誉教授
4. 住所 福岡県久留米市

※年齢は2026年11月3日時点



【受賞理由】

1999年、食欲を調節するホルモンが胃から分泌されることを元国立循環器病研究センター理事の寒川賢治氏らとともに発見し「グレリン (ghrelin)」と命名。その後も受容体の構造解析など機能解明の研究に取り組んだ。疾病に伴う食欲不振などへの臨床応用も進め、治療法が乏しかったがん患者の食欲不振（がん悪液質）の治療薬「エドルミズ」が2021年、国内で初めて承認、販売された。一連の研究は国際的に大きな影響を与え、2025年には寒川氏とともに英国の科学情報会社クラリベイトの引用栄誉賞を受賞した。

生体内で作られ細胞の受容体に結合して情報を伝えるホルモンなどの物質は、グレリン発見当時には脳を中心に研究されており、胃から分泌されることは多くの科学者が想定していないことだった。発見から臨床応用に至る継続的な努力は「オンリーワン」のものとして特筆される。

【主な経歴等】

〈経歴〉	
1988年	宮崎医科大学大学院博士課程修了 日本学術振興会特別研究員（宮崎医科大学化学教室）
1990年	宮崎医科大学医学部研究生 科学技術庁特別研究員（国立循環器病センター研究所）
1993年	国立循環器病センター研究所生化学部室員
1995年	国立循環器病センター研究所生化学部長
2001年	久留米大学分子生命科学研究科遺伝情報研究部門教授 （2017年4月～19年3月研究所長兼任）
2024年	久留米大学名誉教授・客員教授～現在に至る
〈受賞歴〉	
2000年	日本内分泌学会特別奨励賞
2002年	高峰譲吉奨励賞（日本心血管内分泌代謝学会）
2004年	HypoCCS Award
2006年	Viktor Mutt Award
2016年	高峰譲吉賞（日本心血管内分泌代謝学会）
2018年	松尾賞（日本内分泌学会）
2024年	日本内分泌学会学術賞
2025年	クラリベイト引用栄誉賞